

【東海体育学会第61回大会 シンポジウム】

テーマ 『 これからのコーチングを考える 』

趣 旨

- 今日、我が国の競技スポーツは国際大会で好成績をおさめております。スポーツ競技において良い成績をおさめる要因は、選手の資質と能力をはじめ、その資質を発掘し能力を高めるコーチングの力だと言えるでしょう。競技記録、戦術の水準など競技力は年々高まっており、これは、制度や環境の整備と相まってコーチング力の向上と考えていいのでしょうか。
- 一方で、ジュニア育成でのバーンアウト、暴力の問題など、コーチング力の向上とは逆行していると思われる事象もあります。
- ジュニアからトップの選手まで様々な選手を対象に競技力を高めるために、我が国のスポーツコーチングはどのように前進すればいいのでしょうか？
この問題について、各競技でコーチングをされている方々の考えを披露してもらい学会メンバーとともに考え合うという趣旨で、本シンポジウムを企画します。

シンポジスト

- 高橋 繁浩 （中京大学 教授 水泳部部長兼監督）
 - ・シドニーオリンピック、ユニバーシアード大会、アジア大会、世界水泳選手権等の日本代表コーチおよびヘッドコーチ
 - ・ロサンゼルス、ソウルオリンピック大会他、世界水泳選手権やアジア大会、ユニバーシアード大会などの日本代表選手
 - ・学位取得 博士（体育学）
 - ・2010年インカレ男子総合優勝
 - ・2011年インカレ女子総合優勝
- 瀧井 敏郎 （東京学芸大学 教授）
 - ・ユース日本代表選手
 - ・日本B代表選手
 - ・東アジア競技大会、ユニバーシアード大会日本代表監督
 - ・アジアサッカー連盟 規律委員会委員
 - ・(財)日本サッカー協会理事（規律・フェアプレー委員会委員長ほか）
- 平林 宏 （安城高校 教諭）
 - ・豊田西高校着任 野球部監督就任以降24年間監督を継続
 - ・第70回選抜高校野球大会出場 ベスト16